OMRON

INTEGRATED REPORT 2026

Empowering People Through Automation

人が活きるオートメーションで、
ソーシャルニーズを創造し続ける

「統合レポート2026」の発行にあたって

今年度の統合レポート（以下、今号）では、「Trusted Growth - GEMBA DX企業への転換に向けた顧客との信頼関係のさらなる深化」をテーマとし、長期ビジョン「Shaping the Future 2030（以下、SF2030）」における価値創造の道筋を表出させることを目指しました。

具体的には、現在のオムロンに対してステークホルダーの皆さまから最も関心を寄せられている「経営課題と価値創造ストーリー」の表出と「統合レポート制作・編集への期待」への対応を特に意識いたしました。

「経営課題と価値創造ストーリー」の表出では、3つの点にこだわりました。

1つ目は、2026年4月からスタートした中期ロードマップ「SF 2nd Stage」における成長ストーリーの表出です。今号では、CEOに加え、経営チームを担うCxOのメッセージを中心に、SF 2nd Stageで目指す先、およびそこに至る道筋、そして初年度となる2026年度の取組みについて、統合思考に基づいてわかりやすく描写することに注力しました。

2つ目は、マテリアリティの表出です。SF 2nd Stageの開始にあたり、事業影響と企業価値に直結する実効性がある事項だけに絞り込んだ6つのサステナビリティ重要課題に沿った編集とすることで、社会のサステナビリティと自社のサステナビリティを同期させた価値創造ストーリーとなるように努めました。

3つ目は、コーポレート・ガバナンス領域における継続的な実効性向上の取組みの表出です。今回も取締役会議長のインタビューならびに社外取締役・社外監査役の座談会を中心に、取締役会の取組みをわかりやすくお伝えすることを目指しました。

「統合レポート制作・編集への期待」への対応についても3点あります。

1つ目は、ワンレポートとしての記載の充実です。今号では、中期ロードマップなど、読者の方に新たにお伝えする内容が増えたことを受け、財務、非財務に関わる情報をワンレポートとして読んでいただけるよう構成を見直すとともに、記載を充実させました。

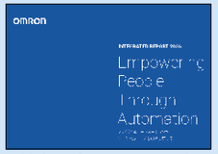
2つ目は、その他の開示情報との関係性の進化です。昨年再設計した、冊子版に掲載した内容を補足する情報をウェブサイト上のコンテンツとして充実させ、詳細や具体をさらに深掘りしたい読者の方のニーズにお応えする工夫は、今号でも継続しています。

3つ目は、AIによるクローリングへの対策と人にとっての読みやすさの両立です。AIによる可読性の観点から文章中心に情報を詳述しつつも、まとめや図・表を盛り込み、人が一目見て理解できるように、わかりやすさとの両立に挑戦しました。

私たちは、これからも皆さまとの対話を大切にしてまいります。今号が、オムロンを一層ご理解いただくための一助となれば幸いです。

開示体系

価値創造ストーリーの概要



統合レポート 2026PDF版

統合レポート 2026オンライン版

取組み・施策の詳細

経営・戦略について

- WEB 長期ビジョン「Shaping the Future 2030」
- WEB 中期ロードマップ「SF 2nd Stage」
- WEB 決算説明会・各種説明会資料
- DATA ベーシックインフォメーション
- WEB 株式の状況

財務情報について

- DATA 有価証券報告書
- DATA ファクトブック

非財務情報について

- WEB サステナビリティ・ウェブサイト
- WEB ESGデータ
- DATA コーポレート・ガバナンス報告書

統合レポートとその他開示情報との関係性について

今号では、統合レポート内の情報および統合レポート外のその他開示情報との関係性を3つのアイコンで示しています。

① 統合レポート内の関連ページ

P.000 ▶ ○○○○（コンテンツ名）
ページ番号とコンテンツ名を記載しています。
（PDFにはリンクを埋め込んでいます。）

② 統合レポート外の開示情報（ウェブページ）

WEB ○○○○（コンテンツ名）
コンテンツ名を記載しています。
（PDFにはURLを埋め込んでいます。）

③ 統合レポート外の開示情報（PDFなど）

DATA ○○○○（コンテンツ名）
コンテンツ名を記載しています。
（PDFにはURLを埋め込んでいます。）

OMRON
INTEGRATED REPORT 2026
INDEX
VALUES
DIRECTION
VISION
RESULTS & FORECAST
MATERIALITY
GOVERNANCE
FACT

統合レポート 2026　目次

VALUES

変わらないオムロンのDNA

3 …… 企業理念を軸とした価値創造のあゆみ

DIRECTION

これからの経営方針

7 …… CEOメッセージ
12 …… 経営体制の強化
13 …… CFOメッセージ

VISION

長期ビジョンとビジネスモデル

17 …… 長期ビジョン「Shaping the Future 2030」
19 …… 中期ロードマップ「SF 2nd Stage」
27 …… GEMBA DX
30 …… 価値創造モデル

RESULTS & FORECAST

実績と見通し

32 …… 財務・非財務ハイライト

MATERIALITY

成長マテリアリティ

36 …… CDXOメッセージ
39 …… 制御機器事業（IAB）
44 …… ヘルスケア事業（HCB）
47 …… 社会システム事業（SSB）
50 …… データソリューション事業（DSB）
54 …… CIOメッセージ
56 …… CTOメッセージ
58 …… 技術・知財ハイライト

成長&基盤マテリアリティ

62 …… CHROメッセージ
65 …… 人財ハイライト
69 …… サプライチェーンハイライト

基盤マテリアリティ

70 …… 環境ハイライト
75 …… 人権ハイライト

サステナビリティ重要課題の進展を支える全社取組み

78 …… CROメッセージ
79 …… リスクマネジメント&コンプライアンス

GOVERNANCE

取締役会は企業価値にどう貢献しているのか

86 …… 取締役会議長インタビュー
89 …… 社外取締役・社外監査役　座談会
97 …… コーポレート・ガバナンス

FACT

ファクト情報

111 …… 連結財務諸表
115 …… 11年間の主要財務データ
116 …… 11年間の主要非財務データ
117 …… 企業情報

編集方針

オムロンの統合レポートは、すべてのステークホルダーの皆さまとの対話を通じた「相互理解の醸成」と「当社経営の高度化」の好循環を生み出すことを目指しています。編集にあたっては、国際会計基準（IFRS）財団「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省「価値協創ガイダンス2.0」、内閣府「知財・無形資産ガバナンスガイドラインVer.2.0」、ならびにWICI（World Intangible Capital Initiative）リソースを参照しています。統合レポートを中心としたオムロンのコーポレート・レポーティング全体を通じて、統合思考に基づいた価値創造ストーリーの発信を強化するとともに、対話の質の向上に努めています。

Environment Social Governance
価値協創ガイダンス

対象組織

原則として、オムロン株式会社および子会社163社、関連会社10社をあわせたオムロングループ174社（2026年3月31日現在）を対象としています。

なお、電子部品事業（DMB）を非継続事業に分類したことに伴い、2024年度以降の関連する財務数値を組み替えて表示しています。また、2026年度以降の財務、非財務の計画値はDMBを除いています。

対象期間

2025年度（2025年4月1日から2026年3月31日）。ただし、2026年4月以降に開始した一部の開示事項や事業活動の内容を含みます。

見通しに関する注意事項

業績予想などは、現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、「2026年度計画」をご覧ください。

OMRON
INTEGRATED REPORT 2026

INDEX

VALUES
DIRECTION
VISION
RESULTS & FORECAST
MATERIALITY
GOVERNANCE
FACT